

岩田さんの学級では、生活の中で気になったことについて調べています。岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、ごみを減らすための行動について学級の友達に提案することになりました。次は、岩田さんが書いている文章の【下書き①】と【下書き②】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【下書き①】

提案します わたしたちにできる「プラスチックの^{アール}3 R週間」

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにア^アひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500万トンだったのが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。

プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれません。けれども、

[]

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のよう^イに使うという考えを^イあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、わたしたちにできる「プラスチックの3 R週間」を提案します。3 Rとは、ごみそのものを減らすリデュース (Reduce)、くり返し使うリユース (Reuse)、ごみを資げんに変え、再び利用するリサイクル (Recycle) のことです。

わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれませんが、しかし、その力が積み重なれば大きなものになります。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

【下書き②】

■ やってみよう プラスチックの3R

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかをウたしかめましょう。他にも具体的な行動が見つかったら、書き加えて実行してみましょう。

プラスチックの3R週間 チャレンジ表

3 R	具体的な行動
減らそう リデュース (Reduce)	<input type="checkbox"/> バッグを持参し、レジぶくろをもらわない <input type="checkbox"/> ふたつき容器を使い、ラップの使用を減らす <input type="checkbox"/> コップから飲み、ストローを使わない <input type="checkbox"/> 水とうを持ち、ペットボトルを買う回数を減らす <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
くり返し 使おう リユース (Reuse)	<input type="checkbox"/> シャンプーはつめかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> 液体石けんはつめかえ用を買い、容器をくり返し使う <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
資げん 変えよう リサイクル (Recycle)	<input type="checkbox"/> ペットボトルを洗い、せん用の場所にする <input type="checkbox"/> 食品用のトレイを洗い、せん用の場所にする <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

一 岩田さんは、読者にプラスチックごみの問題を自分のこととしてとらえてほしいと考え、構成をくふうし、【下書き①】の最初に の内容を書いています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 疑問に思ったことを最初に書いている。

2 身近にある具体例を最初に書いている。

3 行動することの重要性を最初に書いている。

4 全体を要約した文章を最初に書いている。

二 岩田さんは、【下書き①】の に、プラスチックがずっと残ってしまう理由を書くことにしました。そのために資料を探し、本を見つけました。次は、その【本の一部】です。 に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 【本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 岩田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、八十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。



岩田さん

三 岩田さんは、どのような目的で【下書き①】に続けて【下書き②】の「プラスチックの3R週間チャレンジ表」を書いていきますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 3Rの中で、どのような行動をしている人が多いのかを明らかにするため。
- 2 3Rをもとにして、学級みんなが取り組んだことを紹介しょうかいするため。
- 3 3Rを家族で分担ぶんたんし、自分の役割やくわりを明確めいさくにしようため。
- 4 3Rを意識して、自分にできることを考え実行しようため。

四

岩田さんは、【下書き①】と【下書き②】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1)

部アを漢字でていねいに書きましょう。

記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くなえいきょうをあたえていることにアひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界の

ア	
---	--

※解答は、解答用紙に書きましょう。

(2)

一つ選んで、その番号を書き直したものと適切なものを書き直したものを、次の1から3までの中からそれぞれ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えを イ あらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、

- 1 改らため
- 2 改ため
- 3 改め

家の人といっしょに、まずは1週間、プラスチックごみを減らすことに取り組んでみませんか。実行できたら□の中に印を入れ、どのくらい実行できているのかを ウ たしかめましょう。

- 1 確しかめ
- 2 確かめ
- 3 確め

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

大切なことは、

※解答は、解答用紙に書きましょう。

五 岩田さんは、【下書き①】で、**A**の文の……部と——部とがうまくつながっていないことに気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、の中に続きを書きましょう。